

会 議 録

会議の名称	令和2年度第4回下水道事業運営審議会	
開催日時	令和3年2月5日(金) 開会：午後2時 閉会：午後2時30分	
開催場所	水道庁舎 2階 第2会議室	
出席者(委員)氏名	吉野修委員 小林修委員 田尻要委員 多田邦彦委員 山崎時敬委員 栗原三郎委員 長島敬二委員 白鳥拓治委員 計8人	
欠席者(委員)氏名	小久保亮子委員	
事務局	長谷見都市整備部長 田島都市整備部次長兼下水道課長 長島副参事 藤野主幹 木村主査 金子主任 香川技師 新井主事	
会議内容	(1) パブリックコメントの結果公表 (2) 行田市公共下水道事業経営戦略(案)	
会議資料	・行田市公共下水道事業経営戦略(案)	
その他必要事項	傍聴者なし	
会議録の確定	確定年月日	主宰者記名押印
	年 月 日	Ⓜ
発言者	会議の経過(議題・発言内容・結論等)	

事務局	<p>1 開会</p> <p>配布資料の確認</p> <p>2 都市整備部長挨拶</p> <p>長谷見都市整備部長挨拶</p> <p>本日は、委員 9 人に対し出席は 8 人となっており、委員の過半数が出席していることから、審議会条例第 6 条第 2 項の規定により、本会議が成立していることを報告する。</p> <p>また、本会議は公開を原則としている。公開については、市ホームページや市役所本庁舎 2 階の市政情報コーナー等で公開する。</p> <p>なお、本日の傍聴人はいない。</p> <p>本日は市長より諮問された議案はないため、協議会形式で進行させていただく。</p> <p>それでは、議事の進行を審議会条例第 6 条第 1 項の規定により吉野会長にお願いする。</p> <p>3 議事</p>
議長	<p>(1)「パブリックコメントの結果公表」及び(2)「行田市公共下水道事業経営戦略(案)」について関連があるため一括審議として、事務局へ説明を求める。</p>
事務局	<p>パブリックコメントの結果公表及び行田市公共下水道事業経営戦略(案)について説明する。</p> <p>はじめに、前回審議会後に修正した箇所について説明する。</p> <p>経営戦略(案)の第 6 章事業計画と財政見通し(46 ページ以降)において、シミュレーション結果の見通しを示した図 6・1～6・12 は、前回審議会では令和 2 年度～12 年度を載せていたが、経営戦略の計画期間である令和 3 年度～12 年度の図に修正した。ただし、53 ページの使用料収入の見通しは、過年度との比較ができるように平成 27 年度～令和 12 年度のままとする。</p> <p>また、51 ページの経営の見通しにおいて、使用料見直し案を説明する文章表現を具体的なものに修正している。</p>

<p>議長</p>	<p>上記2点を修正した経営戦略（案）とともに、前回審議会で見聞があった経営戦略概要版を作成し、パブリックコメントを実施した。</p> <p>実施期間は昨年12月22日から1月21日までの1か月間であり、市ホームページ及び市役所本庁舎2階の市政情報コーナーで公表した。パブリックコメントの結果は、市ホームページで公表しているのとおり、特に意見はなかった。なお、ホームページのアクセス数は185件となっている。</p> <p>意見がある場合は内容の修正を行い審議予定であったが、意見がなかったため、パブリックコメントで公表した経営戦略（案）を本市の経営戦略として決定したいと考えている。</p> <p>ただし、現在令和3年度予算を調製しているため、経営戦略（案）51ページの事業収支の見通しの数値を予算に合わせて調整した上で、経営戦略を策定したいと考えている。なお、令和3年度の予算は現在のところ、51ページの数値と大きく変わる所はない見込みとなっている。</p> <p>ご意見、ご質問はあるか。</p> <p>意見はないようである。</p> <p>以上で議事のすべてが終了となったので、議長の任を解かせていただく。</p>
<p>事務局</p>	<p>4 その他</p> <p>その他について、事務局から4点事務連絡をする。</p> <p>はじめに、国の3次補正に伴う下水道課の対応を説明する。国において防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策において、インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策の加速等を促進するため、国の3次補正予算で防災・安全交付金等として国費分4925億800万円が令和2年12月11日に閣議決定された。これに伴い、令和3年度に予定していた下水道ストックマネジメント計画に基づく谷郷ポンプ場の耐震診断及び改築・修繕設計ならびに</p>

東谷ポンプ場の改築・修繕設計を令和２年度に前倒しして実施することとし、３月定例議会に措置を行う。

谷郷ポンプ場の耐震診断について、谷郷ポンプ場は昭和６２年に供用開始しており、平成７年の兵庫県南部地震をもとに平成１０年４月に見直されたJS構造物設計指針以前に設計されたポンプ場である。そのため、下水道ストックマネジメント計画に基づき、令和元年度に耐震診断を行った。その結果、建築構造は耐震基準を満足していたが、土木構造は基礎材部分が満足していなかったことから、今回の国の３次補正交付金を活用して非線形解析による耐震診断を実施する。

また、谷郷ポンプ場及び東谷ポンプ場の改築・修繕設計について、谷郷ポンプ場は昭和６２年に供用開始し、消火・災害防止設備、汚水・沈砂設備、汚水ポンプ設備等が目標耐用年数を経過している。東谷ポンプ場は平成７年度に供用開始し、空調・換気設備が目標耐用年数を経過している。そのため、各ポンプ場の改築・修繕に伴う実施設計を行う。

２点目として、令和２年度に実施した下水道工事の概要を説明する。今年度は藤原町地区で３工区にわけ、第１工区を小川工業株式会社、第２工区をサイカン工業株式会社、第３工区を大澤建設株式会社において、合計５．４４haの整備を実施した。工事箇所は第１工区を藤原町１丁目地内、第２工区、第３工区を藤原町２丁目地内となっている。

本年度の工事が完了したことに伴い、本年４月１日からおよそ７０件のご家庭で下水道が使用可能となる。については、１件でも多く下水道に早期接続していただけるよう、下水道課一同普及促進活動に励みたいと考えている。

３点目として、行田市公共下水道経営戦略について、これまでにいただいた意見を踏まえ、本年３月に策定し、委員には完成したものを配布する予定である。

4点目として、今後の審議会について、今年度は経営戦略の策定に伴い書面開催を含め計4回の審議会を開催した。令和3年度からは、経営戦略に位置づけた事業について、本審議会において事業の進捗状況及び目標の達成度などを委員に評価いただく予定である。審議会開催の際は改めて案内するが今後ともご協力いただきたい。

5 閉会

閉会挨拶 田島都市整備部次長兼下水道課長